

国際シンポジウム

アジア諸国における都市間交通システム

Intercity Transport in Asian Countries (ITAC)

平成22年11月4日 韓国商工会議所(ソウル)

主催：運輸政策研究所、韓国交通研究院

■国際シンポジウムの開催

アジアの発展途上国では、急激な経済成長により、交通需要が激増しており、都市間交通のインフラとサービスが著しく不足している。こうした国々のインフラ整備計画は、長期的なシナリオ等が欠如しているため、モード間の適切なバランスや効率的なネットワークが構築できないことや、計画を実現する際の整備財源の確保などが課題となっている。

こうしたことから、アジアの発展途上国における既存インフラの評価や交通投資ニーズの把握などを行い、国際競争力、地域間のバランス、低炭素輸送などを考慮した都市間交通システムの構築に向けた政策提言を行うことを目的に、運輸政策研究所を中心に韓国、中国、台湾、インドネシア、タイ、インド、ネパール、ベトナム、マレーシアの計10国の研究機関との国際共同研究「アジア諸国における都市間交通システム(ITAC)」を行うこととなった。

去る平成22年11月4日に、国際共同研究のキックオフとなる国際シンポジウムをソウルで開催した。シンポジウムでは、最初に森地茂運輸政策研究所長が、今回の共同研究の狙いと概要について講演し、各国の代表が都市間交通の現状や課題と今後の展望について発表を行った。また、基調講演として、前韓国グリーン成長推進委員会共同議長のHyung-kook Kimが、「都市間交通と国土開発～韓国の近代史の場合～」と題し、韓国において水路による輸送が中心であったが高速道路、高速鉄道KTXの整備により、韓国全土が1日生活圏となった都市間交通と国土開発の変遷について紹介した。また、グリーン成

長を考える上で、自動車から公共交通への転換を促進する政策を提案した。

翌日には、ワークショップを開催し、研究の進捗状況をレビューし、今後の進め

方や最終的な提言について議論を行い、平成23年3月に2回目の国際シンポジウムをベトナムで開催し、それまでの成果を発表することとなった。

国際シンポジウム:アジア諸国における都市間交通システム プログラム

10:00~10:20	開会挨拶 (財)運輸政策研究機構運輸政策研究所所長 韓国交通研究院院長	森地 茂 KeeYeon Hwang
10:20~10:45	国際共同研究のコンセプトと概要について (財)運輸政策研究機構運輸政策研究所所長	森地 茂
10:45~12:00	セッション1 日本の都市間交通の問題と今後の展望 (財)運輸政策研究機構運輸政策研究所主任研究員 韓国の交通の傾向と今後の展望 韓国交通研究院研究員 台湾の都市間交通システムの問題と今後の展望 国立交通大学(台湾)教授	Acharya Surya Young-In Kwon Cheng-Min Feng
13:30~14:10	基調講演 都市間交通と国土開発～韓国の近代史の場合～ 前韓国グリーン成長推進委員会共同議長	Hyung-kook Kim
14:10~15:25	セッション2 中国の都市間交通システムの発展と今後の展望 大連理工大学教授 タイの都市間交通の問題と今後の展望 ソクラーナカリン大学教授 ベトナムの都市間交通の問題と今後の展望 環境・交通開発センター所長	Shengchuan Zhao Pichai Tanneranon Trinh Van Chinh
15:45~17:25	セッション3 インドの都市間交通の傾向と今後の展望 アジア交通開発研究所(インド)主任研究員 インドネシアの都市間交通の今後の展望と挑戦 インドネシア大学教授 ネパールの都市間交通システムの緊急課題と今後の展望 トリバン大学准教授 マレーシアの都市間交通の概要 マラヤ大学交通研究センター所長	Raghu Dayal Sutanto Soehodho Tara N Bhattarai Mohamed Rehan Karim
17:25	閉会	



この号の目次へ <http://www.jterc.or.jp/kenkyusyo/product/tpsr/bn/no51.html>